

平成29年度社会福祉法人にしあがつま福祉会事業計画

1. 法人の基本理念

「私たちは利用者の個性や尊厳を大切にし、利用者の立場に立って、心に向き合い、寄り添う支援を実践していきます。」

2. 基本目標

「働きやすい環境づくり」

職員の満足が利用者の満足に大きく影響します。福祉会職員として、誇りややりがいを持ち、お互い助け合い、思いやりを持って働ける環境づくりを目指します。

「地域から必要とされる福祉の拠点」

西吾妻地域で初めて高齢と障害の福祉施設を開所した先駆者として、地域からも期待されてきました。その誇りと必要性を自覚し、地域に根差した施設づくりをしていきます。

「変化の時代に則した安定経営」

契約、競争の福祉環境においては、安定した経営が求められます。無駄なく効率化を図り、健全な経営を確立するよう努めます。

「職員資質の向上」

日々研鑽を重ね、知識、技術、人間性を高めていきます。

3. 事業計画

(1) 特別養護老人ホームからまつ荘、からまつ荘短期入所生活介護

1. 目標

＜介護老人福祉施設＞

- ・法人の基本理念、基本目標を日々念頭に置き、ホームは「生活の場」ということを常に意識した利用者様の立場に立ったケアの実践をして行く。

＜併設型短期入所＞

- ・利用者や家族の意向に沿った柔軟なサービス提供に努めます。
- ・利用者の状態維持と家族介護の負担軽減に努めます。

2. 取り組み

<介護老人福祉施設>

- ①介護保険の法令に則した、施設運営を行っていく。
- ②集団レクリエーションや各種行事、個別対応を通じて余暇活動の充実を図っていく。
- ③利用者様個々の状態に則した、個別ケアの充実を図っていく。
- ④施設内事故の検証をしっかりと行い、再発防止の強化を図っていく。
- ⑤身体拘束の「緊急性」「切迫性」「非代替性」の3要件を厳守し、なるべく身体拘束を行わないケアの在り方を検討し、実践して行くよう努める。
- ⑥早め、早めの感染症予防対策を図り、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症予防や蔓延防止に努める。
- ⑦ご家族との報告、連絡、相談を密に図り、利用者様に係る情報を共有し、より一層、信頼関係の構築を図れるように努める。
- ⑧施設内研修の充実を図るとともに、可能な限り外部研修にも積極的に参加し職員の資質向上を図っていく。
- ⑨マンパワーの確保を図っていく。

☆新卒者をターゲットとした採用及び、離職防止への取り組みを図る。

※近年、介護施設全般、人材確保が難しくマンパワー不足が叫ばれている状況である当施設も例外ではなく、ここ数年の内に、定年退職の対象職員も複数いることから今後のマンパワー確保が課題となっている

- ⑩安定経営を図るための、戦略的な施設運営を図っていく。

☆1日の平均利用を75.5人/80人定員に目標設定する。

(平成27年度対比で金額ベースで年間約7,980千円増を目指す)

※平成27年度実績 : 1日平均73.57人/80人定員

平成28年度実績 : 1日平均73.79人/80人定員

⇒具体的には

- ・病院医師との連絡調整を密に図り退院の見通しなどについて積極的に問い合わせる。また、利用者様家族からも問い合わせを頂くよう働きかけ、速やかに退院入所につなげることにより、空床状態を少なくするよう努める。
- ・ショートステイとの調整を図り、一定割り合いはショートステイ長期利用から本入所に繋がるよう調整し、入所調整に要する時間の短縮を図り、空床状態を少なくするよう努める。
- ・四か町村内の居宅介護支援事業所や病院、老健等にも積極的に働きかけ、入所希望者及び、ショートステイ利用希望者を紹介してもらうよう働きかける。

※最近の傾向として、入所申込者の中で、声がかかればすぐに、入所を希望する方は以前より少なくなっており、入所申込み登録者全体も減少傾向にある。

- ・空床が生じた際に、四か町村内の入所申込者ですぐにでも入所を希望したい対象者がいない場合は、四か町村以外の入所希望者も検討して行く。

- ・看取り介護等についても今後検討していく。
- ・経費削減委員会の活動を通じて、なるべく無駄と思われる経費の削減を図って行く。

<併設型短期入所>

- ①関連する職員が各利用者様の利用目的を把握する。
- ②初回利用時や利用者様本人に状態変化があった際には、ケアマネが状態を確認し、関連する職員（介護・医務・栄養）に報告する。
- ③ホームの空きベッド活用
職員に経営状態を再確認してもらい、空床利用に対する理解を得て、空きベッドの利用をしやすくする。
- ④居宅ケアマネに空き状況を伝える。

(2) 長野原町デイサービスセンター（からまつ荘通所介護）

1. 目標

- ・個々の状況に応じたサービスを提供し、家族と連携をとり、在宅生活を支援していく。

2. 取り組み

- ①楽しみが持てるように余暇活動の充実を図り、利用者様を増やしていく。

(3) 長野原町ホームヘルプサービス（からまつ荘訪問介護）

1. 目標

- ・住み慣れた環境で安全安心に暮らせるように支援する。

2. 取り組み

- ①利用者様目線に立ち、寄り添いながら、自立支援につながるサービスを心がける。

(4) からまつ荘居宅介護支援事業所

1. 目標

- ・利用者、家族の心に向き合い、在宅での生活が可能な限り継続できるよう支援する

2. 取り組み

- ①利用者、家族に信頼されるケアマネジメントを行う。

②利用者、家族、各サービス事業所、主治医等との連携を密にし、自立支援に向けたサービスにつながるよう調整する。

(5) やまどり生活介護

1. 目標

- ・個々の利用者に合わせた日中支援
- ・安定した日中環境作り

2. 取り組み

- ・精神的安定を主軸とした支援（散歩・レク等）
- ・必要に応じたマンツーマン支援対応
- ・特性に合わせた環境（個室や仕切り壁）等の検討
- ・職員の資質の向上（研修等）

(6) やまどり就労継続支援 B 型

1. 目標

- ・工賃を上げる
- ・働きやすい環境作りと指導の向上

2. 取り組み

- ・授産の拡大
 - 1. 平成29年2月より長野原町ふるさと納税謝礼品の参加
 - 2. 農作物（花いんげん豆／とうがらし）の増産計画

(7) にしあがつま地域活動支援センターすきっぷ

1. 目標

- ・利用者を増やす
- ・地域に理解され密着したセンター作り

2. 取り組み

- ・宣伝（村の広報誌等の活用）
- ・行事等地域への積極的参加